

〒番号

住所

会社名

経営企画・管理部門ご担当 御中

日本経済の展望と経済政策に関するアンケート調査

(ご協力のお願い)

この調査は、日本経済の先行き不透明感や制度・政策の不安定性が企業経営に与える影響について実態を把握し、経済政策の企画・立案の参考にするため、経済産業省所管の独立行政法人経済産業研究所(RIETI)が行うものです。

貴社名が公表されることは一切なく、回答内容は統計処理をした上で、調査研究の目的に限定して使用させていただきます。

ご多忙のことと存じますが、下記の点にご留意のうえ、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。(なお、本調査の発送・回収は、株式会社インテージリサーチに委託して実施するものです。)

2013年2月

調査実施主体 独立行政法人経済産業研究所

【調査票のご記入にあたっての注意事項】

- (1) 本調査は、貴社において中期経営計画の策定等を担当されている部署の方にご回答いただきたいと存じます。
- (2) 問は全部で15問あります。
ご回答は、選択肢より当てはまる番号をお選びいただいて○印で囲んでいただくものと、具体的な数字をご記入いただくものがあります。
- (3) 全てのご記入が終わりましたら、お手数ですがご記入漏れがないかお確かめの上、同封の返信用封筒(切手不要)にて**2月22日(金)**までにご返送ください。
- (4) 本調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

◆ 問い合わせ先 調査受託会社 株式会社インテージリサーチ
日本経済の展望と経済政策に関するアンケート調査係

03-5294-8325

【受付時間】 平日10:00 ~ 17:30 (土曜、日曜、国民の祝日を除く)

【提出先】

〒203-8601 東京都東久留米市本町1-4-1
株式会社インテージリサーチ
日本経済の展望と経済政策に関するアンケート調査係

I. 貴社の業況と今後の見通しについてお聞きします。

問1 貴社の業種は次のどれに当たりますか。(○は1つ)

1 建設業	4 運輸業	7 サービス業
2 製造業	5 卸売業	8 その他
3 情報通信業	6 小売業	

問2 貴社の今年度の総売上高は、昨年度と比較して何%程度増減する見込みですか。おおよその数字を御記入の上で、増・減のいずれかに○を付けて下さい。

※今年度の総売上高の見込みを前年度との比較で、小数点以下は四捨五入してご記入ください。

※連結ベースではなく単独の数字をご記入ください。

	%程度	増・減	←増・減いずれかを○で囲んでください
--	-----	-----	--------------------

問3 貴社の総売上高は、来年度(2013年度)、今後3年間(2013～2015年度の平均)に何%程度増減すると予測されますか。おおよその数字を御記入の上で、増・減のいずれかに○を付けて下さい。

また、その予測が90%の確率で実現すると見込まれる範囲について右欄の選択肢から選んで、番号に○を付けてください。

※90%の確率で実現すると見込まれる範囲:例えば、売上高伸び率の見通しが10%程度増で、90%の確率で5%増～15%増の幅に収まると見込まれる場合、選択肢6の「±5%～7%未満」を選択して○を付けてください。

来年度(2013年度)の総売上高の見通し			→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
	%程度	増・減		1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
				2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
				3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
				4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
				5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上

今後3年間(2013～2015年度)の総売上高の見通し(年平均)			→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
	%程度	増・減		1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
				2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
				3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
				4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
				5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上

問4 貴社の代表的な商品・サービスの販売価格は、一年前と比較してどの程度変化していますか。上昇率・下落率についておおよその数字をご記入の上で、上昇・低下のいずれかに○を付けて下さい。

	%程度	上昇・低下	←いずれかを○で囲んでください
--	-----	-------	-----------------

問5 貴社の代表的な商品・サービスの販売価格は、今後1年間、今後3年間(年平均)でどの程度上昇・低下すると予測されますか。上昇率・下落率について、予想されるおおよその数字をご記入の上で、上昇・低下のいずれかに○を付けて下さい。

また、その予測が 90%の確率で実現すると見込まれる範囲について右欄の選択肢から選んで、番号に○を付けてください。

※90%の確率で実現すると見込まれる範囲:例えば、販売価格の見通しが3%程度低下で、90%の確率で5%低下～1%低下の幅に収まると見込まれる場合、選択肢4の「±2%～3%未満」を選択して○を付けてください。

今後1年間の販売価格の見通し			→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
	%程度	上昇・低下		1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
			2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満	
			3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満	
			4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満	
			5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上	

今後3年間の販売価格の見通し(年平均)			→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
	%程度	上昇・低下		1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
			2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満	
			3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満	
			4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満	
			5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上	

問6 貴社が直接雇用している常時従業者の現在の人数と、一年前と比較した増減率をご記入の上で、増・減のいずれかに○を付けて下さい。

※ 「常時従業者」とは、常用雇用者(正社員、正職員、パート、嘱託、契約社員等の呼称にかかわらず1か月を超える雇用契約者)及び有給役員です。なお、派遣労働者は直接雇用ではないのでここには含まれません。

※ 2013年1月現在の数値もしくは直近で把握可能な時点の人数をお答えください。

	現在の人数	一年前からの増減	
		%	増・減
常時従業者総数	人	%	増・減
正社員・正職員数	人	%	増・減
正社員・正職員以外の 常時従業者数	人	%	増・減

問7 貴社が直接雇用している常時従業者数は、今後1年間、今後3年間(年平均)でどの程度増減すると予測されますか。おおよその数字をご記入の上で、増・減のいずれかに○を付けて下さい。

また、その予測が 90%の確率で実現すると見込まれる範囲について右欄の選択肢から選んで、番号に○を付けてください。

※90%の確率で実現すると見込まれる範囲:例えば、従業者数が 3%程度増加する見込みで、90%の確率で△1%減～+7%増加の幅に収まると見込まれる場合、選択肢 5 の「±3%～5%未満」を選択して○を付けてください。

今後1年間の雇用見通し				90%の確率で実現すると見込まれる範囲		
常時従業者総数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上
正社員・正職員数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上
正社員・正職員以外の常時従業者数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上

今後3年間の雇用見通し(年平均)				90%の確率で実現すると見込まれる範囲		
常時従業者総数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上
正社員・正職員数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上
正社員・正職員以外の常時従業者数		%程度	増・減	→	1 ±0.5%未満	6 ±5%～7%未満
					2 ±0.5%～1%未満	7 ±7%～10%未満
					3 ±1%～2%未満	8 ±10%～15%未満
					4 ±2%～3%未満	9 ±15%～20%未満
					5 ±3%～5%未満	10 ±20%以上

II. 日本経済の見通しについてお聞きします。

問8 現在の日本の景気を1年前と比べてどう感じますか。(○は1つ)

1 良くなった	2 変わらない	3 悪くなった
---------	---------	---------

問9 1年後の日本の景気は現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

1 良くなる	2 変わらない	3 悪くなる
--------	---------	--------

問10 日本の実質経済成長率は、今後1年間(2013 暦年の前年比)、今後3 年間(2013~2015 暦年の平均年率)でどうなると思いますか。それぞれ小数点以下第一位までの数字をご記入の上で、上昇・低下のいずれかに○を付けて下さい。

また、その予測が 90%の確率で実現すると見込まれる範囲について右欄の選択肢から選んで、番号に○を付けてください。

※参考: 実質GDP成長率(暦年)の近年の数字及び国際機関の見通しは下記の通りです。

2009 年	2010 年	2011 年	2012 年(OECD 見通し)	2013 年(同左)	2014 年(同左)
△5.5%	+4.7%	△0.6%	+1.6%	+0.7%	+0.8%

※90%の確率で実現すると見込まれる範囲: 例えば、経済成長率の予想が+1.0%程度上昇で、90%の確率で△0.5% 低下~+2.5%上昇の幅に収まると見込まれる場合、選択肢 7 の「±1.5%~2.0%未満」を選択して○を付けてください。

今後1年間(2013 暦年)の 経済成長率の見通し	→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">%程度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">上昇・低下</td> </tr> </table>			%程度	上昇・低下		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 ±0.1%未満</td> <td style="width: 50%;">6 ±1.0%~1.5%未満</td> </tr> <tr> <td>2 ±0.1%~0.3%未満</td> <td>7 ±1.5%~2.0%未満</td> </tr> <tr> <td>3 ±0.3%~0.5%未満</td> <td>8 ±2% ~ 3%未満</td> </tr> <tr> <td>4 ±0.5%~0.7%未満</td> <td>9 ±3% ~ 5%未満</td> </tr> <tr> <td>5 ±0.7%~1.0%未満</td> <td>10 ±5%以上</td> </tr> </table>	1 ±0.1%未満	6 ±1.0%~1.5%未満	2 ±0.1%~0.3%未満	7 ±1.5%~2.0%未満	3 ±0.3%~0.5%未満	8 ±2% ~ 3%未満	4 ±0.5%~0.7%未満	9 ±3% ~ 5%未満	5 ±0.7%~1.0%未満	10 ±5%以上
		%程度	上昇・低下													
1 ±0.1%未満	6 ±1.0%~1.5%未満															
2 ±0.1%~0.3%未満	7 ±1.5%~2.0%未満															
3 ±0.3%~0.5%未満	8 ±2% ~ 3%未満															
4 ±0.5%~0.7%未満	9 ±3% ~ 5%未満															
5 ±0.7%~1.0%未満	10 ±5%以上															
今後3年間(2013~2015 暦年)の 経済成長率の見通し(年平均)	→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">%程度</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">上昇・低下</td> </tr> </table>			%程度	上昇・低下		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 ±0.1%未満</td> <td style="width: 50%;">6 ±1.0%~1.5%未満</td> </tr> <tr> <td>2 ±0.1%~0.3%未満</td> <td>7 ±1.5%~2.0%未満</td> </tr> <tr> <td>3 ±0.3%~0.5%未満</td> <td>8 ±2% ~ 3%未満</td> </tr> <tr> <td>4 ±0.5%~0.7%未満</td> <td>9 ±3% ~ 5%未満</td> </tr> <tr> <td>5 ±0.7%~1.0%未満</td> <td>10 ±5%以上</td> </tr> </table>	1 ±0.1%未満	6 ±1.0%~1.5%未満	2 ±0.1%~0.3%未満	7 ±1.5%~2.0%未満	3 ±0.3%~0.5%未満	8 ±2% ~ 3%未満	4 ±0.5%~0.7%未満	9 ±3% ~ 5%未満	5 ±0.7%~1.0%未満	10 ±5%以上
		%程度	上昇・低下													
1 ±0.1%未満	6 ±1.0%~1.5%未満															
2 ±0.1%~0.3%未満	7 ±1.5%~2.0%未満															
3 ±0.3%~0.5%未満	8 ±2% ~ 3%未満															
4 ±0.5%~0.7%未満	9 ±3% ~ 5%未満															
5 ±0.7%~1.0%未満	10 ±5%以上															

問 11 日本の消費者物価は、今後1年間、今後3年間(年平均)で何%程度変化すると思いますか。それぞれ小数点以下第一位までの数字をご記入の上で、上昇・下落のいずれかに○を付けてください。

また、その予測が90%の確率で実現すると見込まれる範囲について右欄の選択肢から選んで、番号に○を付けてください。

※消費税率は2014年4月から8%に、2015年10月に10%に引き上げられることを前提に御回答下さい。

※参考：消費者物価指数(総合)の変動率の近年の数字及び国際機関の見通しは下記の通りです。なお、OECDの見通しは、消費税率の引き上げが折り込まれています。

2009年 2010年 2011年 2012年(OECD見通し) 2013年(同左) 2014年(同左)
 △1.4% △0.7% △0.3% ±0.0% △0.5% +1.3%

今後1年間の 消費者物価の見通し				→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
		%程度	上昇・下落		1 ±0.1%未満	6 ±1.0%～1.5%未満
					2 ±0.1%～0.3%未満	7 ±1.5%～2.0%未満
					3 ±0.3%～0.5%未満	8 ±2%～3%未満
					4 ±0.5%～0.7%未満	9 ±3%～5%未満
					5 ±0.7%～1.0%未満	10 ±5%以上

今後3年間の 消費者物価の見通し(年平均)				→	90%の確率で実現すると見込まれる範囲	
		%程度	上昇・下落		1 ±0.1%未満	6 ±1.0%～1.5%未満
					2 ±0.1%～0.3%未満	7 ±1.5%～2.0%未満
					3 ±0.3%～0.5%未満	8 ±2%～3%未満
					4 ±0.5%～0.7%未満	9 ±3%～5%未満
					5 ±0.7%～1.0%未満	10 ±5%以上

Ⅲ. 先行きの不確実性・経済政策と企業経営との関係についてお聞きします

問12 世界経済・日本経済の先行きを予想することが難しい時代になっています。世界経済・日本経済に関する下記1)から7)の事項について、(A)中期的な経営の観点からの先行き不透明感(不確実性)、(B)先行き不透明感が貴社の経営に与える影響をお答えください。(それぞれ○は1つ)

	(A) 先行き不透明感			(B) 貴社の経営への影響		
	非常に不透明感がある	やや不透明感がある	あまり不透明感はない	非常に影響がある	やや影響がある	あまり影響がない
1) 世界経済の成長	1	2	3	1	2	3
2) 為替レート	1	2	3	1	2	3
3) 金利	1	2	3	1	2	3
4) 株価(株式市況)	1	2	3	1	2	3
5) 財政赤字	1	2	3	1	2	3
6) 電力・エネルギー価格	1	2	3	1	2	3
7) 外国との外交・通商関係	1	2	3	1	2	3

※4) 株価は、貴社の株価ではなく日経平均など株式市況一般と御理解ください。

問13 最近、世界各国で政権交代や与野党の対立等に伴って、経済制度や経済政策に関する不確実性が高くなっているという見方があります。

下記の1)から9)の制度・政策について、(A)先行きの不透明感(不確実性)、(B)先行き不透明感が貴社の経営に与える影響をお答えください。(それぞれ○は1つ)

	(A)先行き不透明感			(B)貴社の経営への影響		
	非常に不透明感がある	やや不透明感がある	あまり不透明感はない	非常に影響がある	やや影響がある	あまり影響がない
1) 税制(法人税等)	1	2	3	1	2	3
2) 社会保障制度	1	2	3	1	2	3
3) 事業の許認可制度	1	2	3	1	2	3
4) 労働市場制度(労働者派遣法、最低賃金等)	1	2	3	1	2	3
5) 環境規制	1	2	3	1	2	3
6) 土地利用規制・建築規制	1	2	3	1	2	3
7) 消費者保護規制(個人情報保護制度を含む)	1	2	3	1	2	3
8) 会社法制・コーポレート・ガバナンス(情報開示等)	1	2	3	1	2	3
9) 通商政策(FTA, TPP等)	1	2	3	1	2	3

問14 前の問で挙げたような税制・規制をはじめ、政府が決める法律や政策とその運用方針の先行きについての不透明性や不確実性が高まることによる貴社の経営上の意思決定への影響が大きい事項を、下記の選択肢から2つ以内で選んでご回答ください。(1番目・2番目の番号をそれぞれ1つずつ記入)

<選択肢>

1 設備投資	3 IT投資	5 海外進出・撤退	7 正社員の採用
2 研究開発投資	4 広告宣伝活動	6 組織再編(M&A等)	8 非正社員の採用

一番目	
-----	--

二番目	
-----	--

問15 政府(国、地方自治体)の規制や市場ルールを遵守するためには、書類やデータの作成、専任の人員の配置など、企業経営にとって様々な経費が伴います。

問13で挙げた様々な規制やルールに関連する諸経費(人件費、外注費、調査費等)が、貴社の総経費に占める割合はどの程度ですか。おおよその数字を下記の選択肢から一つ選んで、番号に○を付けてください。(○は1つ)

1 経費に影響はない	3 1%超~2%未満	5 3%超~5%未満	7 7%超~10%未満
2 0%超~1%未満	4 2%超~3%未満	6 5%超~7%未満	8 10%超

質問は以上です。御多忙のところ調査にご協力頂きまして、誠に有難うございました。